

## ◆「必見！こうすれば、読解力が高まります！！」

PISA2009調査の質問紙の結果から、以下の項目について、「ある」を選んだ生徒の割合が、「ない」を選んだ生徒の割合よりも多い学校の場合、生徒の読解力得点が高いということが分かったそうです。

PISA2009調査  
質問紙から

「先生が生徒の課題を採点する」  
 「先生が生徒に、(国語の) 課題についての質問をする機会を与える」  
 「先生が生徒に、どのようにしてほしいか前もって伝える」  
 「生徒が(国語の) 課題を行っている間、集中しているかどうか先生がチェックする」  
 「先生が生徒に、(国語の) 課題を評価する方法を前もって伝える」  
 「先生は、生徒が積極的に参加するような質問をする」  
 「(国語の) 課題のやり方をそれぞれの生徒が理解しているかどうかを、先生が確認する」



授業改善の取組の  
視点

- 先生が児童生徒に、取り組むべき課題や課題を評価する方法をあらかじめ伝える。
- 先生が児童生徒に、どのようにしてほしいか前もって伝える。
- 児童生徒が積極的に参加できるような質問を投げかける。
- 児童生徒が課題に集中して取り組んでいるかどうかを、チェックする。
- 課題を採点する。

など、児童生徒と先生との相互作用を活発にし、児童生徒が能動的に取り組める支援をステップごとに行うことが重要。

参考 初等教育資料2011年12月号 (No.880) p2～p5  
 「PISA調査(読解力)から見る能力、そして指導への示唆  
 国立教育政策研究所国際研究・協力部長 渡辺 良

## ◆これまでの全国学力・学習状況調査の結果から～成果と課題及び授業改善の視点～

国語、算数・数学  
の取組の要点

### 国語

- ・これまでの学校における取組の成果として、自分の体験などを踏まえて自由に書くことに関して成果がみられる。
- ・条件を付加していくと、正答率が低くなるなど、依然として課題がある。  
例) 理由・根拠、立場、関係、比較、字数・・・
- 書くことに課題があるのではなく、条件を加えて書くことに課題がある。
- 結論先行型の文章を書かせるなど、具体的な指導方法の改善が必要である。

### 算数・数学

- ・以前からずっと乗り越えられていないものがある。  
例) 割合、百分率
- ・該当学年でやればよいという考えではなく、どこで子どもがつまづいているのかをみて、組織的に指導に当たることが重要。
- ・数学Aでは、移行措置の内容の正答率が低いので、再度指導しておくことが必要。
- 必要のない情報を問題に入れておき、「なぜこの情報が必要ないのか」について考えさせることも必要。
- の正答と◎の正答を比較し、どうすれば◎になるかを考えさせる。

◆「これが課題！ ～平成23年度全国学力調査問題の活用から～」

小学国語B問題

3-

・伝記を比べて読み、優れた叙述を多面的に捉えたり、自分の考えを深めたりすることができるかどうかをみる問題。

【課題】

- ・伝記が長いので、途中からあきらめてしまう。
- ・多くの問題に答える為の時間配分ができない。
- ・条件に合わせるのが苦手。

【対応策】

- ・問題を先に確かめ、課題意識をもって文章を読む。
- ・全ての問題に答える為の見通しをもって臨む。
- ・条件付きで書くことを、多く経験する。

◆小・中学生ともに、調査問題冊子のページを何度もめくりながら文章を読んだり、文章から情報を抜き出したりする作業に抵抗があるというお話を、多くの先生方から伺っています。同時に、問われていることを先に確認し、必要な情報を文章から取り出すようにするといった、目的意識をもって文章に向かわせるなどの具体的な指導改善も図られています。子どもの状況を的確に把握し、課題に対して適切な指導を行うきめの細かさが、山口県の教育力の高さにつながっています。

中学校数学B

5

・資料から不確定な事象を考察する際、必要な情報を適切に選択すること、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することなどができるかどうかをみる問題。

5 達也さんたちは、昨年の夏の高校野球甲子園大会の決勝戦で投げ合った島袋洋菜投手と一二三投手と対戦し、ヒットを打ってみたいと思いました。そこで、2人の甲子園大会の投球の記録について調べました。

投球の記録	最高球速 (km/時)	最低球速 (km/時)	球速の平均 (km/時)	総投球数 (球)
島袋投手	147	109	132	766
一二三投手	147	105	131	628

次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

(1) 2人の球速の範囲がそれぞれ時速何kmであるか求めなさい。

(2) 達也さんたちは、一二三投手の投げた球を打つための練習について話しています。

達也さん「表を見ると、球速の平均は時速131kmだね。」  
 大樹さん「それなら、平均の時速131kmに的をしばって練習すればいいのかな。」  
 優花さん「だけど、ヒストグラムをつくるとこんなふうになったよ。」

【課題】

- ・資料から必要な情報を適切に選択したり、資料の傾向を数学的な表現を用いて説明するのが苦手。

【対応策】

- ・説明すべき事項とその根拠を明確に区別し、数学的な言葉を使って説明する場面を日々の授業で経験する。

◆数学A問題の数の集合と四則、図形の移動、球の体積、関数関係の意味及びB問題の資料の活用の問題など、移行措置に伴い補助教材を用いて学習した内容について、課題がみられることが浮き彫りとなりました。今一度、補助教材を用いて学習した内容の振り返りと、定着状況の確認が必要です。小・中学校ともに、これまでの学習内容の定着度を確認できるよう、県教委では、現在「やまぐち学習支援プログラム」確認問題を作成しているところですが、3月には提供できる予定ですので、今後の活用をお願いします。